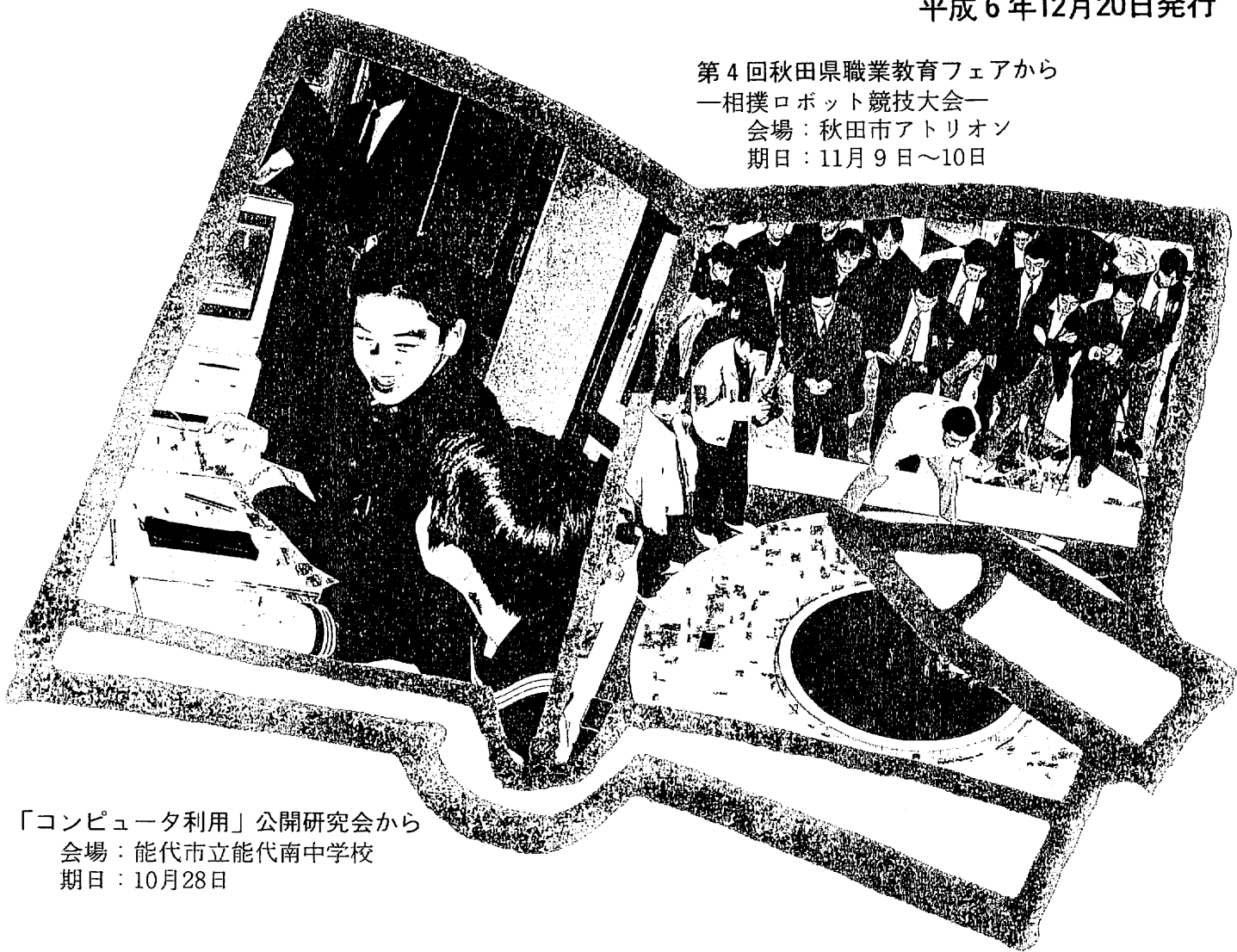


平成6年12月20日発行

第4回秋田県職業教育フェアから  
—相撲ロボット競技大会—  
会場：秋田市アトリオン  
期日：11月9日～10日



「コンピュータ利用」公開研究会から  
会場：能代市立能代南中学校  
期日：10月28日

## 教育センターだより

### ◇ — も く じ — ◇

- ・ 第4回秋田県職業教育フェアから…………… 1
- ・ 「コンピュータ利用」公開研究会から…………… 1
- ・ 新総合教育センターの建設構想 その5…………… 2
- ・ 初任者研修 6・5・4・3…………… 4
- ・ 第9回秋田県教育研究発表会の御案内…………… 6

### 秋田県教育センター

〒010-14 秋田市仁井田緑町4番2号  
TEL 0188(32)3594  
0188(33)0959(教育相談)  
0188(32)0831(教育相談)  
FAX 0188(32)3594  
パソコン通信0188(36)3462  
ID=120

## 新総合教育センターの建設構想 その5

## 情報教育研修部

## 1 第1情報教育研修室

ワープロ、表計算、データベースのほか、マルチメディア対応の機能をもつアプリケーションソフトウェアを活用し、授業や校務での具体的なコンピュータの活用についての基礎的な研修を行います。

ハードディスクとCD-ROMを内蔵したコンピュータを41台設置し、画像音声を含めたマルチメディアの効果的な実習もできます。

初任者研修等の基本研修のほか、情報教育・パソコン入門・マルチメディア教材作成・視聴覚教材作成などの講座を行います。

## 2 第2情報教育研修室

ここでは、中級程度の研修を行うほか、学校における情報教育の指導者の研修を行います。指導者研修では各校種、各教科・科目等において、コンピュータを情報活用手段として利用するのに必要な知識と技能を習得するとともに、演習を行うことを目的にしています。

また、MIDIに対応する機材も導入しますので、コンピュータを使った音楽講座(MIDI講座)も新しく開講します。

なお、この研修室はLANによるコンピュータの使い方をグループ学習という観点からも使用する予定です。

設備は、コンピュータ41台、カラーページプリンタ、高解像度イメージスキャナ、MIDI機材などを導入します。

## 3 情報処理教育実習室

最新鋭のコンピュータを導入し、より高度の研修を行います。

21台のパソコンに、電話交換機と個々にファッ

クスデータを送受信できるモデムを設置し、室内でパソコン通信の実習が可能になるようにしました。また、電話、ファックス、イメージスキャナなどもセットし、高等学校商業の総合実践の研修もできる環境を整えています。さらに、CAD(自動設計製図装置)を導入し、高度な設計製図の研修を行います。

ここでは、特に、C言語、CAD、図形活用、オペレーティングシステム、高等学校情報処理教育、パソコン通信など、発展的な研修を行います。

## 4 ソフト開発室

各学校で活用できるパソコン用教材ソフトウェアの開発を行うほか、視聴覚教材作成(TP)研修講座、計測・制御研修講座などの講座で、TP教材や計測・制御ボードなどの製作や活用を行う部屋です。

この部屋では、県内の各学校に導入されている機種を中心とする、複数メーカーのパソコンを設置して、ソフトウェアの開発や、各学校からのソフトウェア活用に関する様々な問合せにも応じます。また、教材・教具製作に必要な工具や設備をそろえ、教材製作や機器の操作実習などが十分に行えるようになっています。

## 5 スタジオ

高品質のビデオ教材や録音教材を製作するための部屋です。

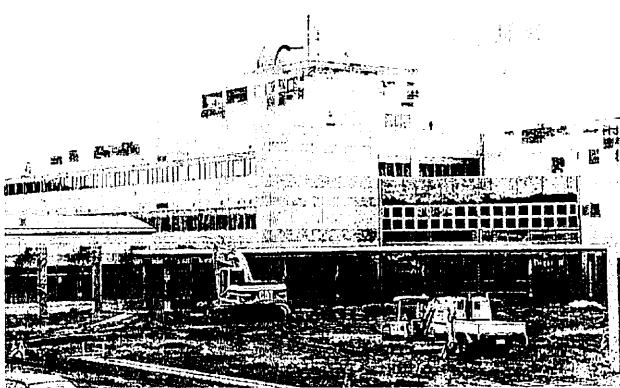
この部屋は、ビデオ撮影のための照明装置や、録音のための防音装置、ナレーションの吹き込み用のアナウンスブースなども設置します。

2台の高性能テレビカメラによって撮影された映像は、スタジオの隣りにある調整室で合成、編集ができます。また、各種ビデオ機器の映像や音声に対して変換、合成などの処理をすることができます。

視聴覚教材作成(ビデオ)研修講座でビデオの教材製作の実習を行うほか、マルチメディアで利用できる画像や音声の素材づくりにも活用します。

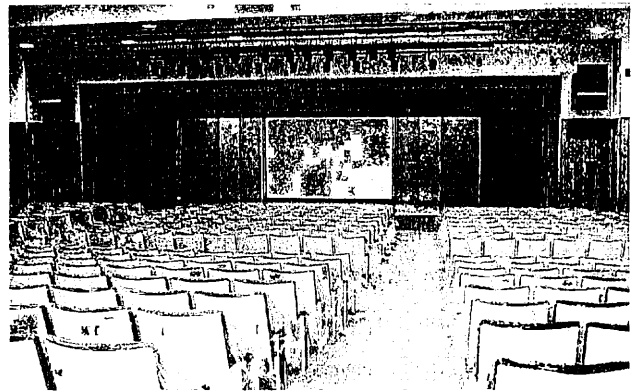
# 「おおよそ完了した建築工事」

〈写真撮影 11月29日〉



正面入口（エントランスホール）を望む

12月1日現在、建物の建築工事は98%、外構工事は40%の進捗状況です。中央のドームには、屈折式天体望遠鏡が設置されました。

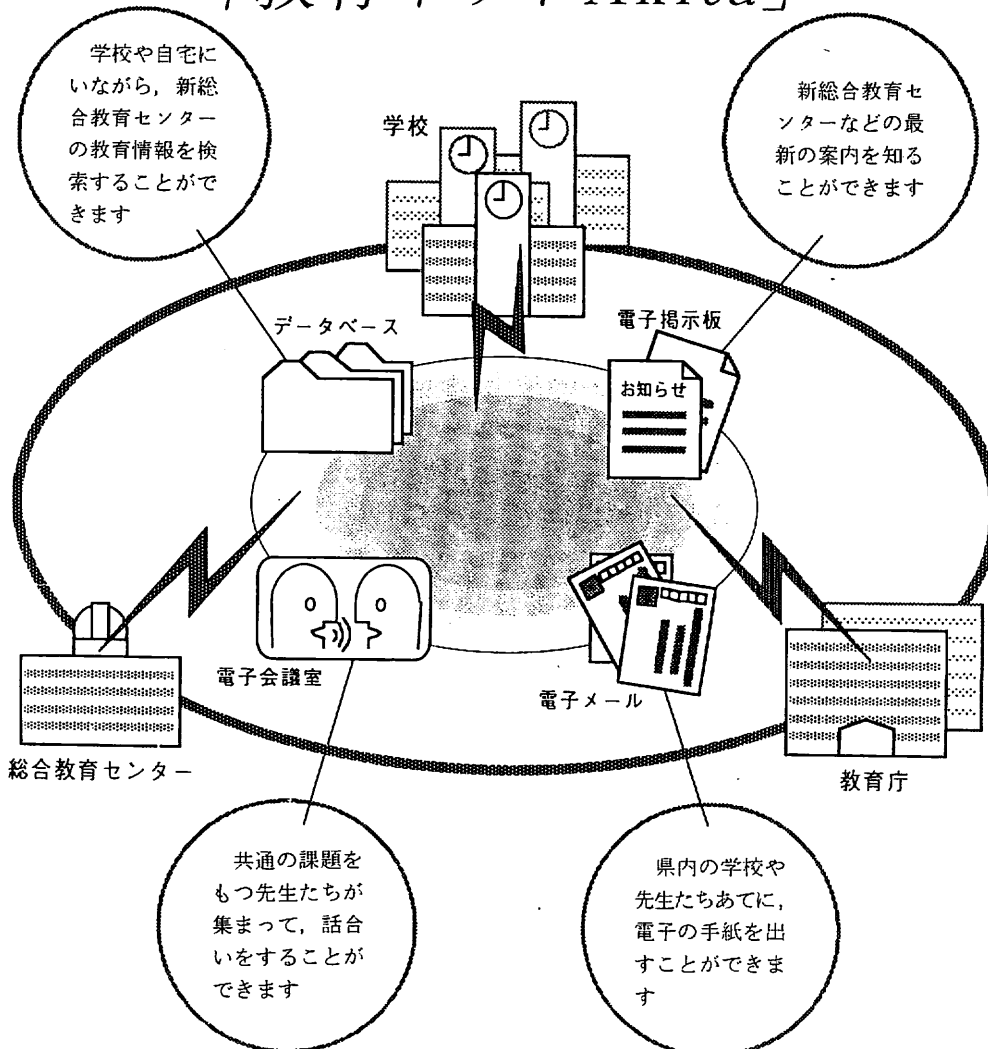


いすの取付けが終った講堂

500席を有する講堂が完成しました。大型ビデオプロジェクタ、音響装置、舞台照明、メモ台付き座席などを備え、講演会等も開催できます。

## 新総合教育センターのパソコン通信の名前が決まりました

# 「教育ネットAkita」



# 初任者研修 6・5・4・3

教職研修部長

佐藤 良治



新任教員に対する研修すなわち「初任者研修」も、小学校6年目、中学校5年目、高等学校4年目、特殊教育学校3年目を迎えた。研修年数を経るにしたがい改善が加えられ、充実した内容になってきたことは、喜ぶべきことである。

新任教員に対しては、教育委員会をはじめとして新任校の校長や教頭、更に地域の方々から、初々しくて行動力のある新任教員が、どのようにして学校を活性化してくれるだろうかと、大きな期待が寄せられている。

当教育センターにおいては、新時代に対応できる教師像づくりに努めているが、新任教員は自分への期待をどのように認識しているか、興味あるところである。

## ◆ 期待への挑戦は自己を磨く

平成6年4月、講座の実施に先立って「新任教員のあなたに、どのようなことが期待されていると思うか」との問いかけに、記述方式で自由に記入してもらった主な内容をまとめてみた。

集計に当たっては複数記述で行い、初任者数に対する割合として表した。

### (1) 中学校教員

- ①年齢が近いので生徒を温かく、愛情をもって指導すること 62.2%
- ②校務には若さと情熱で失敗を恐れず挑戦すること 45.1%
- ③研修や体験活動等に参加し、自己の力量を高めること 31.7%
- ④教育活動を通じて、生徒と望ましい人間関係をつくること 24.4%
- ⑤生徒と共に学び教師としての成長に努力すること 23.2%

- ⑥先輩たちからいろいろ学び、吸収すること 22.0%
  - ⑦教師としての責任を自覚し、使命感をもって行動すること 19.5%
  - ⑧早く校務に慣れ教師として役割を果たすこと 17.1%
  - ⑨授業の工夫や改善に関する研究や研修を行うこと 14.6%
  - ⑩学習への意欲や関心を高め、個性や長所を伸ばしてやること 13.4%
- ### (2) 高等学校教員
- ①年齢が近いので、一人一人に愛情をもって接し信頼関係をつくること 52.6%
  - ②若さと情熱で挑戦し、学校を活性化すること 40.2%
  - ③初心を忘れず校務に全力で取り組むこと 38.3%
  - ④専門職として研究や研修に努め自己を磨くこと 28.7%
  - ⑤校務に早く慣れ、学校経営の即戦力となって貢献すること 20.7%
  - ⑥広い視野で学校の改革や授業改善に柔軟に対応すること 20.2%
  - ⑦若いうちに先輩たちから多くを学び、めざす教師像の具現に努めること 19.1%
  - ⑧生徒と共に学び、個性や能力を伸ばしてやること 18.1%
  - ⑨社会の変化や教育内容の変化に積極的に対応すること 11.7%



高等学校初任者研修講座から(平成6年10月)  
(県内の外国人留学生を迎えた国際理解教育の研修)

◆ 若さと情熱をいつまでも

記述内容をみると中学校、高等学校の新任教員とも、「生徒に愛情をもって温かく接すること」を最も高い率で記入している。これは生徒に接する教師の基本姿勢を表していることになり、誠に望ましいことだと思う。

授業の展開や生徒の指導において、生徒と教師の呼吸が合った状態を維持していれば、その目標はほぼ達成していると言ってもよいからである。

また、校務には「情熱をもって全力で取り組むこと」を多くの新任教員があげている。生徒は教師の姿勢を鋭く評価するものであると同時に、教師からの影響も大きく受けることを考えると、熱意ある指導は誠に大切なことであり、頼もしさが感じられる。

そのほか、「教師の力量を高めるための研修や研究の必要性」「社会の変化への対応」「個性や長所の伸長」に対しても意欲がみられるので、いつまでもこの若さと情熱をもち続けて欲しい。

◆ 新人を育てるために

新任の教師たちが、「できるだけ早く校務に慣れ役割を果たしたい」「当面する自分の課題の解決策を早く教えて欲しい」と、願う気持ちも当然のことだと思う。しかし、むしろこれからは「時間をかけて勉強し、着実に一人で歩むこと」ができる基礎・基本を、どのように定着させるかが重要になってくる。

そのため当教育センターでは、研修の在り方が今の時代にマッチした内容や形態になるよう考慮し、常に検討しながら充実に努めている。具体的には教職教養、教科、生徒指導、進路指導、特別活動等の基礎理論や方法に関する内容のほかに、次のような内容を設定し特色をもたせている。

①国際理解教育の導入

②環境教育の導入

③個に応じた研究の充実

主体的に設定した教育課題の研究  
選択による公開研究会への参加

④コンピュータを活用した教育の充実

⑤体験的活動の充実

特別養護老人ホームでの実習

県内企業の見学

体験交流及び洋上研修報告会

また、研修講座の展開に当たっては、実践的でより魅力あるものにするため次のような点に配慮している。

①講義中心から協議・演習等実践的活動の重視

実践活動の発表・協議・演習

②先輩教師や社会人講師の活用

ベテラン教師による実践活動発表

初任者研修体験発表

企業経営者等の講話

③教育関係機関との連携と研修の効率化

教育事務所、市町村教育委員会等との連携

④グループ別や個別指導の拡大

課題別・教科別等のグループ別研究討議

主体的教育研究に対する指導

なお、このほかに「TT方式の学習指導」「だれにでもできる英会話」等多数の希望講座を設定しているので、これらの講座を活用することによって個人の研修を一層充実させることができる。

◆ 実践活動は教師をつくる

新任教員の記述では、教師としての認識に若干の個人差はあるものの、その責任や使命は全員に十分理解されていると思う。

したがって、今後の課題は「若い教師一人一人が、どのようにして実践的な指導力を発揮するかにかかっている」と言ってもよいだろう。

若い時代に取り組んだ研究や研修、課外活動の実績は教師に力量と自信を付け、更に自分の生き方の基礎をつくと同時に、何よりも生徒たちに大きな成果をもたらすことになるため、高く評価されるのである。

新任教員の皆さんは、初任者研修の今年を契機に、今日的課題に一層の研さんを積まれ、教師としてもまた人間としても大きく成長し、力強く次代を担ってくれることを期待する。

# 御案内

秋田県教育センター主催

## 第9回 秋田県教育研究発表会

○ 期 日 平成7年2月14日(火)・15日(水)

○ 会 場 秋田県生涯学習センター  
秋 田 県 児 童 会 館



### 記念講演

演題 「教育・研究の原点—教師,宮沢賢治に学ぶ」

講師 秋田経済法科大学 秋田桂城短期大学設置委員会委員長  
弘前大学名誉教授 宮 城 一 男氏

○ 日 程

第一日	10:00	11:00	12:00	13:00	15:45
	受付	教育研究奨励賞授賞式 教育研究発表会開会式	教育センタープロジェクト 分野別研究発表	昼食・休憩	分野別研究発表

第二日	9:30	12:15	13:00	13:45	15:30
	受付	分野別研究発表	昼食・休憩	分野別研究発表	記念講演

☆記念講演のみでも参加できます。当日、会場で受付をします。

### ふるさと教育部門を特設

今年度は、各分野各校種から76題の研究発表があります。中でも新設された「ふるさと教育」に関しては14件の実践研究が発表されます。

“ふるさとと歩む「遊友スクール」” “ふるさと教育と関連付けた「身近な地域」の指導”などのテーマが見られます。

また、教育センターのプロジェクト研究としては“ホームルーム(学級)活動における在り方生き方指導—郷土を生かす指導資料—”と“登校拒否(不登校)児童生徒への保健室でのかかわり方”の2題が発表されます。



西仙北町立大沢郷小学校の実践から  
地域の人々や自然などに思いやりをもって触れ合える子供の育成を目指して